

資料4-②

平成27年度第1回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

事業評価監視委員会審議資料

【再評価事業】

○一般国道58号 恩納南バイパス

沖縄総合事務局開発建設部

事業評価監視委員会審議資料

道路事業(再評価) 国道58号 恩納南バイパス

平成27年12月9日

沖縄総合事務局
北部国道事務所



※恩納村字仲泊付近から恩納村中心部方面を望む

2. 恩納南バイパスの事業概要

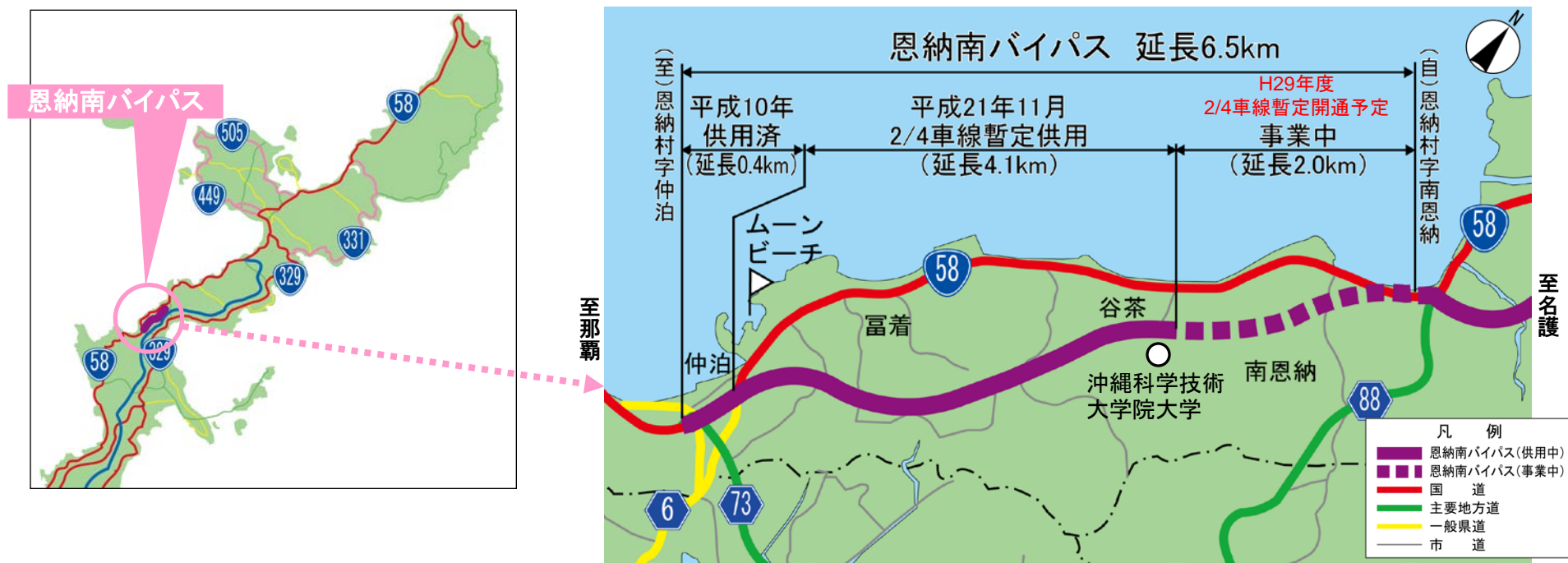
(1) 事業目的

一般国道58号は、沖縄本島西側を南北に走る大動脈で、本島中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ主要幹線道路であり、ハシゴ道路計画にも位置づけられている。

恩納南バイパスは、本県有数のリゾート地である恩納村内の観光シーズンにおける交通渋滞緩和、国道58号の交通安全確保及び沿道環境の改善、観光産業の支援に大きく寄与する道路である。

- ① 恩納村内における観光シーズンの交通渋滞緩和
- ② 国道58号の交通安全確保及び沿道環境の改善
- ③ 県内屈指のリゾート地である恩納村の観光支援

恩納南バイパスの全体位置図



(2) 計画概要

<計画概要>

- 事業名：一般国道58号 恩納南バイパス
- 起終点：(起点) 沖縄県恩納村字南恩納
(終点) 沖縄県恩納村字仲泊
- 延長：6.5km
- 道路規格：第3種第2級
- 設計速度：60km/h
- 車線数：4車線

<主な事業の経緯>

平成2年度	事業化
平成5年度	用地着手
平成7年度	工事着手
平成10年度	一部区間(恩納村字仲泊付近) 4/4車線開通
平成21年度	一部区間(恩納村字谷茶～仲泊) 2/4車線開通 (平成21年11月1日)

<費用>

- 全体事業費：360億円 (H24再評価時360億円)
- 残事業費：56億円 (H24再評価時107億円)

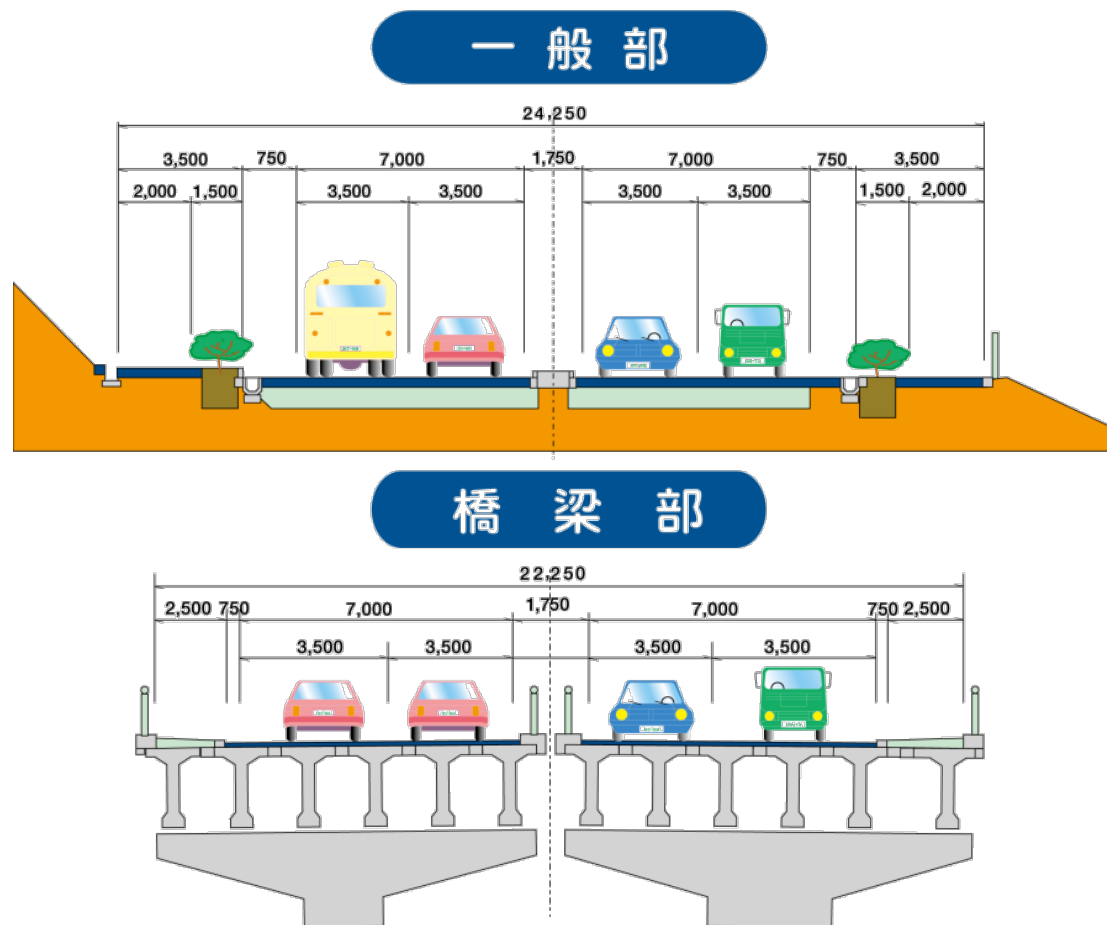
<費用便益比>

- 事業全体：4.5 (H24再評価時)
- 残事業：7.8 (H24再評価時)

<事業進捗の見込み>

	H24再評価時 (H24年度末時点)	今回評価時 (H26年度末時点)
用地買収の進捗率	97%	98%
事業費の進捗率	70%	78%

恩納南バイパスの標準断面図



(3) 事業の進捗状況等

1) 事業の進捗状況

平成27年度事業内容

- ・事業中区間の用地買収及び工事を推進します。

進捗の状況

- ・平成26年度末までの用地進捗率98%(面積ベース)、事業進捗率78%(事業費ベース)です。

事業進捗上の課題

- ・1工区において用地取得に時間を要していたが、用地交渉の進展により、事業の進捗が見込まれることから、現在では大きな課題は生じていません。

2) 今後の事業スケジュール等

- ・早期の全線2車線暫定供用に向けて、事業中区間の用地買収、工事を推進していきます。

恩納南バイパスの全体位置図



区間	3工区(1.7km)	2工区(2.8km)	1工区(2.0km)
用地	用地進捗率98%(面積ベース)		
工事	暫定2車線供用 (一部区間供用済)	暫定2車線供用	事業中

(4)まとめ

1. 事業の必要性

- 年々交通量が増加(H21:16,200台/日→H24:18,200台/日)し、特にレンタカー交通の増加が顕著な夏季観光シーズンをはじめとして、近年、激しい渋滞が発生している。 ⇒ **交通渋滞の緩和**
- 国道における恩納村内の交通事故死者数は県内2位(11名)であり、かつ、国道58号沿道に民家が集中している中、大型車交通も多く、交通安全上や住民の利便性、沿道環境の課題がますます深刻になっている。 ⇒ **交通安全の確保・沿道環境の改善**
- 恩納村は観光客数の増加に伴う県内ホテルや各種観光資源の立地が促進され、県内屈指のリゾート地であるとともに、科学技術の振興を目的とした沖縄科学技術大学院大学が開学(H24.9)していることから、これらの資源(施設)を活用するための支援が必要となっている。 ⇒ **観光産業・沖縄科学技術大学院大学の支援**

2. 事業の投資効果

- 交通渋滞の緩和
⇒国道58号現道区間(南恩納～仲泊間)で渋滞損失時間が**約9割削減**【356万人・時間/年→7.2万人・時間/年】。
- 交通安全の確保・沿道環境の改善
⇒国道58号現道区間(南恩納～仲泊間)で死傷事故密度が**約7割削減**【6.2件/km・年→1.5件/km・年】。
- 観光産業の支援
⇒恩納村に点在する**各種観光交流施設のアクセス性が向上**し、魅力ある観光産業が形成される【琉球村～万座毛の所要時間26分→16分】。
- ◎費用便益比(B/C) = **4.5**(事業全体)、**7.8**(残事業)

3. 事業の進捗と見込み

- 平成21年11月1日に一部暫定2車線で開通し、一部暫定開通の一定の効果も発揮されている。今後は当面、早期の全線2車線暫定供用に向けて、鋭意事業の進捗を図る。
- 用地進捗率(完成):約98%(H24再評価時97%)、事業進捗率(完成):約78%(H24再評価時70%)。

○対応方針(原案):「**事業継続**」